

平成27年度実施施策に係る政策評価の事前分析表

(国土交通省27-33)

施策目標	33 市場・産業関係の統計調査の整備・活用を図る					担当部局名	総合政策局	作成責任者名	情報政策課長 金子 英幸			
施策目標の概要及び達成すべき目標	現行統計の改廃や統計利用者の視点に立った統計データの加工、ホームページを通じた電子的な統計データの提供等を通じ、市場・産業関係の統計の体系的な提供を行うとともに、将来を見据えた新たな統計ニーズへの対応を図り、統計利用者の利便性の向上を図る。					施策目標の評価結果	④進展が大きくない	政策体系上の位置付け	9 市場環境の整備、産業の生産性向上、消費者利益の保護	政策評価実施予定時期	平成29年8月	
業績指標等	初期値	目標値 設定年度	実績値					評価結果	目標値	目標年度	業績指標等の選定理由、目標値(水準・目標年度)の設定の根拠等	
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度					
149- 統計の情報提供量及びその利用状況 ① (①収録ファイル数)	約5,000件	平成18年度	約10,000件	約10,500件	約12,000件	約13,500件	約15,900件	A	約14,800件	平成27年度	市場・産業関係の統計の体系的な提供に資するため、情報提供の量及びその利用状況(収録ファイル数、ホームページアクセス件数)を指標とする。	
149- 統計の情報提供量及びその利用状況 ② (①HPアクセス件数)	約915,000件	平成22年度	約915,000件 (※)	約812,000件 (※)	約808,000件 (※)	約1,012,000件 (※)	約734,000件 (※)	B	約960,000件	平成27年度	市場・産業関係の統計の体系的な提供に資するため、情報提供の量及びその利用状況(収録ファイル数、ホームページアクセス件数)を指標とする。 (※)カウント方法について、サーバの機能等の状況変化により、平成23年度より変更している。 また、平成20年度から平成22年度の実績値についても、変更後のカウント方法により算出している。	
達成手段 (開始年度)	27年度 行政事業レビュー 事業番号	予算額計(執行額)			27年度 当初 予算額 (百万円)	達成手段の概要	関連する 業績指標 等番号	達成手段の目標(27年度) (上段:アウトプット、下段:アウトカム)				
		24年度 (百万円)	25年度 (百万円)	26年度 (百万円)								
(1) 国土交通統計 (昭和23年度)	343	590 (537)	577 (519)	580	591	統計利用者の利便性の向上を図るため、限られた統計リソースを効果的かつ効率的に活用・推進し、現行統計の改廃や新規統計の創設、統計利用者の視点に立った統計データの加工、ホームページを通じた電子的な統計データの提供等、将来を見据えた新たな統計ニーズへの対応を図る。	149	-				
(2) 大都市交通センサス実施経費 (昭和35年度)	新27-46	76 (76)	- (-)	-	126	首都圏、中京圏、近畿圏の三大都市圏における大量公共交通機関の利用実態を把握するために5年毎に実施している調査であり、広域交通圏における公共交通ネットワークの利便性の向上、交通サービスの改善等の交通政策の検討に資する基礎資料とすることを目的とする。	149	-				
施策の予算額・執行額		683 (615)	594 (527)	609	893	施策に関する内閣の重要政策 (施策方針演説等のうち主なもの)	「公的統計の整備に関する基本的な計画の変更について」(平成26年3月25日閣議決定)					